

◎別紙 1

発生の経緯

- 12:30 家畜改良事業団後代検定センターから、肥育牛部門において、様子のおかしい牛がいるとの連絡があった。
家畜保健所長と検査課長が訪問。
肥育牛、5頭中4頭に口蹄疫の症状がみられる。
- 16:40 所長、検査課長が家畜保健所に帰る。写真を畜産課を経由して国とのやり取りを始めた。
- 19:00 疑似患畜と確定。
-

今後の方針

- ・症状のある牛、および同居の牛10頭を本日中（14日中）に殺処分し、石灰散布を行う。
 - ・肥育部門西側土地に埋設したい。
 - ・明日（15日）の早朝から掘削。掘削と同時に残りの肥育牛を殺処分、埋設していく。
 - ・肥育牛部門の総数は259頭。当初の10頭以外は明日（15日）の朝から殺処分。
 - ・今回の処分は肥育牛部門のみの対応としたい。
 - ・種有牛部門の総数は55頭、うち避難牛は6頭。種有牛は殺処分の対象外。
※高鍋町としては、例外は認めたくない。
- ・本日中（14日中）に埋設地の周辺住民に説明する。
※午後8時25分説明。午後9時5分承諾。